

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

E. 学習・研究環境の改善

⑤その他

《医療系》

●東京医科歯科大学保健衛生学研究科総合保健看護学専攻 「看護学国際人育成教育プログラム」の事例

(具体的に何を実施したのか)

- ・国際的に活躍できるためのアカデミックマナーを習得するための教育方法の一つとして、英語によるコミュニケーションの方法、英語によるプレゼンテーションの方法、アカデミックパブリケーションの方法などのDVDやCDRを製作し、教育で活用した。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

- ・大学院生と協働して内容を吟味し製作した。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

- ・大学院生のニーズに沿った内容となり、視聴覚教材の有用性が高まった。これらの視聴覚教材を講義や自己学習などに有効活用でき、学習効果を高めることができた。
- ・本学の大学院生のみならず、母国語が英語ではない国の大学院生や、国内の他大学の大学院生にも希望に応じて配布し有効活用することができた。

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

F. その他

①大学院生・研究者等の積極的な受入・派遣等

《医療系》

●東京医科歯科大学保健衛生学研究科総合保健看護学専攻 「看護学国際人育成教育プログラム」の事例

(具体的に何を実施したのか)

- ・協定大学等をはじめとする海外の大学・研究機関等への大学院生の派遣、研究者や教育者の受け入れを積極的に行った。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

- ・欧米の大学のみならず、アジアの国々との相互交流を深められるように大学院生の派遣先や研究者の受け入れ先の大学等を選定した。大学院生の海外派遣の際は、各大学院生の研究や学習ニーズが達成できるよう、派遣先を選定した。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

- ・欧米の大学のみならず、アジアの大学とも、研究や教育に関する連携を深めることができた。
- ・大学院生の学習効果が高まった。